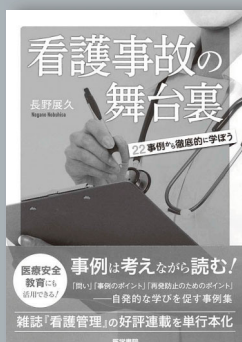


今月の 新刊紹介

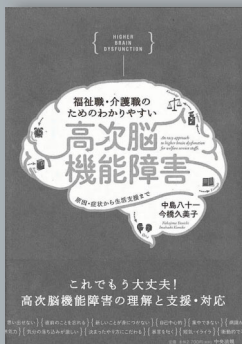


看護事故の舞台裏 22 事例から徹底的に学ぼう

著：長野展久
発行：医学書院
定価：2500 円＋税

『看護管理』
の連載から
生まれた本

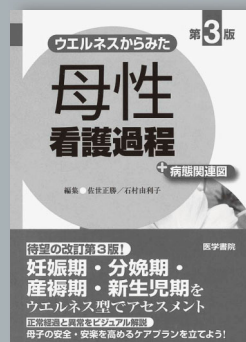
本当にあった重大な看護事故を時系列に沿って詳しく分析した事例集。事例を読む前に考えるべき問い、事例検討のポイント、そこから導かれる再発防止のポイントという構成が自発的な学びを促進する。高齢患者にまつわる事例を豊富に取り上げているため、これからの医療安全教育に最適である。



福祉職・介護職のためのわかりやすい 高次脳機能障害

著：中島八十一／今橋久美子
発行：中央法規
定価：2700 円＋税

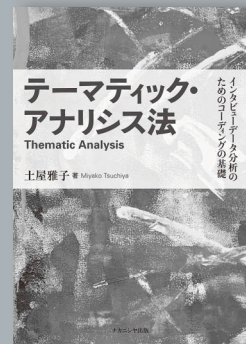
高次脳機能障害について、医学的なメカニズムからではなく具体的な困った状況から症状を解説しているため、若手スタッフや福祉・介護職の教育に適している。支援事例の紹介で用いられている専門用語には、本書での初出箇所が明示されているなど、学習に役立つ工夫が満載。



ウエルネスからみた 母性看護過程＋病態関連図 第3版

編：佐世正勝／石村由利子
発行：医学書院
定価：3800 円＋税

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母子の異常だけでなく、正常経過をウエルネス視点でアセスメントする思考過程について、豊富なビジュアルで丁寧に解説。今回の改定では全項目にわたり見直しを行い、最新のエビデンスやガイドラインの内容を反映させた、母性看護過程のバイブル。



テーマティック・アナリシス法 インタビューデータ分析のための コーディングの基礎

著：土屋雅子
発行：ナカニシヤ出版
定価：2200 円＋税

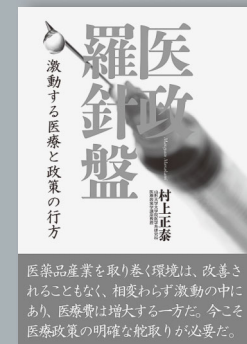
テーマティック・アナリシス法は、質的研究の方法論ではなく、インタビューなどで得られる逐語録といった生データの分析手法として位置付けられている。事例として著者の行った質的研究が用いられており、質の高いデータ分析に必要な技術を具体的に習得することができる。



《がん看護実践ガイド》 分子標的治療薬とケア

編：遠藤久美／本山清美
発行：医学書院
定価：3800 円＋税

複雑な作用機序やさまざまな副作用を持つがんの分子標的治療薬について、統一された図を基に概要や作用機序、注意すべき副作用、それに対するケアを解説している。各論に加え、分子標的治療薬で出現し得る副作用への具体的なケアも示されているがん看護の実践書。



医政羅針盤 激動する医療と政策の行方

著：村上正泰
発行：医薬経済社
定価：1500 円＋税

「機能強化」と「給付抑制」の間で揺れ動く医療政策について、2014 年診療報酬改定からおおよそ 2 年半にわたって、関係する省庁や職能団体の動きを精緻に追いながら評価と検討を行っている。これからの病院における医療提供体制や看護管理を考える上で、多くの示唆が得られる 1 冊。